

学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価の目的

自己評価結果について、学校関係者評価委員それぞれの観点から意見を述べ、指導・助言を行うことにより、学校運営の改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価委員会出席者

区 分	氏 名
保育科実習園園長	栗原 志津恵
福祉科実習園施設指導者	木間 大祐
在校生・卒業生保護者	岡田 將彰
福祉科卒業生	野村 將一

3. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日：令和2年10月13日（火）

場 所：大泉保育福祉専門学校 中央校舎101教室

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人三吉 経営理念「地域社会への貢献」・「全員の幸福」 ・育成人材像（教育目標） <ul style="list-style-type: none"> ① 専門の知識・技術の習得と、幅広い福祉分野への関心を深める ② 精神力を高め、努力と前向きな意欲を継続する ③ 主体的な行動力や表現力の伸長を図る ④ 実践力を培い、即戦力となる専門家を養成する ⑤ 社会集団でリーダーシップを発揮できる職業人を育成する ⑥ グローバルな視点での社会貢献意識を育成する ・本校は、実務経験のある教員が多く、現場で直ぐに役立つ実践的な知識・技能を学ぶことが出来、社会的な人材不足が問題となっている「保育士（保育教諭）」「介護福祉士」を養成し、優秀な有資格者として継続して輩出している。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育目標等について、学生へ配付する学生便覧、保護者向けの小冊子「入学にあたって」へ記載し周知を行っているが、教職員・学生ともにより認識を深め、到達点へと近づけていきたい。 <p>【委員の意見等】</p> <p>理念・教育目標を教職員が常に意識して学生指導にあたることはとても大切であり、学生への意識付けも引き続きお願いしたい。</p>				

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度毎に運営方針、部署ごとの事業計画を策定し、学校運営を行っている。 ・各部署の代表者による運営委員会を意思決定機関としており、学則に明記している。 ・本校の運営母体である、社会福祉法人三吉にて就業規則・給与規定を整備している。 ・法令遵守に基づきコンプライアンス体制を整備している。 ・教育活動等に関して本校ホームページ上で積極的に公開を行っている。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム化をより一層進め、業務の効率化、軽減化を図る事により、今まで以上に学生の個別指導に活かしていく事が出来る。 ・教職員が最新の情報システム化を行うための能力の向上を図る。(ホームページ・SNSを強化し、より正しく本校を知ってもらう) ・教育活動の情報公開の強化を図る為、その内容について見直しを進め、学校の取組等を知ってもらう。 <p>【委員の意見等】</p> <p>保育園でも職員への情報機器の研修が行われているが、学校でも視覚的な活用が授業内でも進んでいると思うので、教職員の能力向上に励んでいただきたい。</p>				

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・学科毎に修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部署において、年度毎に養成校設置基準に沿って教育課程の見直し等を実施し、事業計画内で策定している。 ・独自科目を含め、各学科内でカリキュラムの研究や授業方法について検討を行い実施している。 ・成績評価、単位認定、進級判定の基準を明確にしており、学生便覧に記載し学生への周知徹底、ホームページでの情報公開を行っている。 ・養成する職業理解の深い、現場経験が豊かな教員を非常勤講師を含め確保している。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営の適格な推進を図る為、学校関係者評価委員会を設置し、意見を積極的に取り入れていく。 ・各養成施設協会主催研修を中心に、各セミナー等へ参加しているが、今後も学生の緊急時の対応等を含め、積極的に教職員が研修会に参加していく。 ・小田原短期大学と教育連携を行っているが、より多くの高度な情報の共有を行い、意見交換をしていくことにより、学習の質の向上を図る。 <p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率100%を継続している。(2019年度1人あたり 保育科 12.7件、福祉科 44.9件の求人あり) ・介護福祉士国家試験対策講座を開講し、福祉科全員が卒業時の合格を目指している。 ・退学率低減の為、個別面談、学力不振者への補習授業、保護者を含めた三者面談、各種奨学金を含めた学費支払い相談等を実施している。 ・就職先からの卒業生への評価、卒業生からの意見を踏まえ、改善に取り組んでいる。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の学生の卒業後まで見通しを持って支援が行えるように、HRAを中心に学生の悩みに常に寄り添い、一人一人の心身の伸長を実現する。 ・卒業生・在校生に対する社会的な活躍に対する情報収集、適切な評価を実施することで、より一層の躍進を図る。 ・国家試験合格にむけて個々にあった学習サポート体制をさらに強化する。 ・休学している学生がスムーズに復学できるよう、休学期間中も定期・不定期的に連絡を取りながら支援を行っていく。 ・コース変更希望の学生に対して適宜対応し、希望する資格取得に向けて支援していく。 <p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業学年 HRA を中心に、事務担当者と連携して、就職活動支援を行っている。 ・学生相談に関しては HRA が中心ではあるが、どの教職員でも相談ができる体制が整備されている。 ・学費分割納入や各種奨学金の取り扱いについて、事務担当者が個別相談に応じているが、今後も各種奨学金の案内等を積極的に行っていく。 ・看護師資格を持つ福祉科専任講師を中心に、個別に健康相談にも応じている。 ・女子寮、無料駐車場、公共交通機関通学券の半額補助、昼食お弁当の注文販売等の学生支援を整備している。 ・保護者に対しては、状況に応じて電話連絡、二者面談、三者面談を実施し、連携を取っている。 ・卒業後の8月頃に保育科「おしゃべり会」を開催し、情報交換を行っている。また、日頃から多くの卒業生が来校しており、その都度相談に応じている。 ・厚生労働大臣指定の国家資格を取得できる養成校として、教育環境を整えている。 ・各高等学校へ訪問をし、専門職についての資格説明や授業体験等を行っている。 <p>【今後の課題・改善方策】 学生の相談等について、保護者とも情報を共有しながら、丁寧に対応していく。</p>				
<p>【委員の意見等】</p> <p>保育科が実施している卒業後の懇談会（おしゃべり会）の取り組みはとても良い活動である。福祉科での実施検討もお願いしたい。</p>				

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働大臣指定の国家資格を取得できる養成校として、教育環境を整えている。 ・実習施設等と連携し、教育体制を整えている。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な防災設備の点検・更新、年1回の全学生対象の避難訓練を実施しているが、今後も避難経路の周知徹底を図る。(避難方法など常時掲示等で周知) <p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県専門学校各種学校協会の取り決めも遵守しながら、適正に実施している。 ・教育成果となる資格取得状況・就職状況について、本校のホームページやパンフレット内で周知している。 ・社会福祉法人立の専門学校として、学生が学びやすい学費設定を心掛けている。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の進路指導担当と連携を強化し、常に最新の情報が、効率的に交換できるようにしていく。 ・保育士・幼稚園教諭・介護福祉士資格の専門性、就職率等をPRしていく。 ・全体の学生数減少の中での学生確保の為、専門学校で学ぶ魅力・メリット等の内容の発信を強化していく。 ・オンラインも活用し、新しく生徒との接点を持つ場としての位置づけを行っていく。 <p>【委員の意見等】</p> <p>少子化の中で、学生募集活動が課題になるかと思うが、御校の良さは学生への支援面も含めて入学してから分かる事が多い。企業などは小・中学校での講演を行いながら、人材確保に繋がる広報活動を実施しており、SNSだけではなく、保育士や介護福祉士についてもっと生でのPR活動に力を入れていただきたい。</p>				

(8) 財務

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1
【現状】 ・毎年、予算検討会議を開催し、意見交換を実施しており、妥当なものとなっている。 ・財務についての会計監査は法人本部にて適正に行われている。 ・財務情報について本校ホームページにて公開している。				
【今後の課題・改善方策】 ・短中期的には安定しているが、長期的にはより多くの学生数の安定確保が必要となる。(将来的な経営の安定化を図る為、学生募集・付帯事業に力を入れる)				
【委員の意見等】 各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。				

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に法令順守を意識して、適正な運営を心掛けている。 ・個人情報保護規定を策定しており、規定に基づき対策を行っている。 ・自己評価結果は本校ホームページで公開している。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を実施後、学校長を中心に改善に取り組んでいるが、自己評価を速やかにフィードバックし、より迅速に改善していけるようにする。 				
<p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象とした介護体験教室、各高校からの依頼による職業体験の為の模擬授業等を開講している。 ・近隣市町村、保育所・幼稚園・認定こども園・高齢者施設等、多数のボランティアへ参加。本校後援会からも参加学生への飲物等の支援も行っている。 ・外部向けに保育士特例通信課程、実務者研修、喀痰吸引等研修を開講している。 ・離職者が対象となる群馬県からの委託訓練生を積極的に受け入れている。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア参加後の振り返りを行い学生の気づきが多くなるよう支援し、学習の理解を深め、質の高い専門家になる為の一助としていきたい。 				
<p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				